



azbil

アズビル株式会社 (旧: 株式会社 山武)

azbilグループの中核として、“計測と制御”の技術をもとに、人々の安心・快適・達成感と地球環境への貢献をめざす「人を中心としたオートメーション」を追求しています。

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

設立：1949年8月22日

資本金：105億2,271万6,817円

従業員数：5,043名 / 連結：9,328名 (2018年3月31日現在)

URL: <https://www.azbil.com/jp/>

(取材日：2018年10月)

POINT

ERPシステムの
クラウド×ビックバン導入を実現した
「JP1の安定品質」

海外展開の不安を完全に払拭した
「JP1/AJS3リスクアセスメント
サービス」

アシストに保守サポートを
任せる決め手となった
「高いサポート品質と提案の妥当性」

「JP1はアシストへ任せたい！」 高いサポート品質と提案力で ERP の海外展開を難なく実現

アズビル株式会社 (旧: 株式会社 山武) では、グローバル経営の強化を目的として、基幹システムをクラウド上のERPへ統合。ジョブ管理・監視はJP1を利用しているが、海外展開を控えて現状のキャパシティに漠然とした不安を抱えていました。そこで、アシスト独自の診断サービス「JP1/AJS3リスクアセスメントサービス」を利用。JP1ジョブ管理サーバのデータベース保守状況 / ジョブ実行数 / 製品ログなどを複数の評価軸で可視化。評価結果に基づき対処した結果、海外展開をトラブルゼロで開始。JP1ユーザ会をはじめ、アシストの各種支援サービスを継続して受けられるように、保守サポートをアシストへ任せることにしました。

課題

- 海外展開に向けた、ジョブ運用のパフォーマンスやキャパシティに対する不安
- 従量課金型ライセンスでの運用によるコストの増加
- JP1の運用経験やノウハウの少なさ

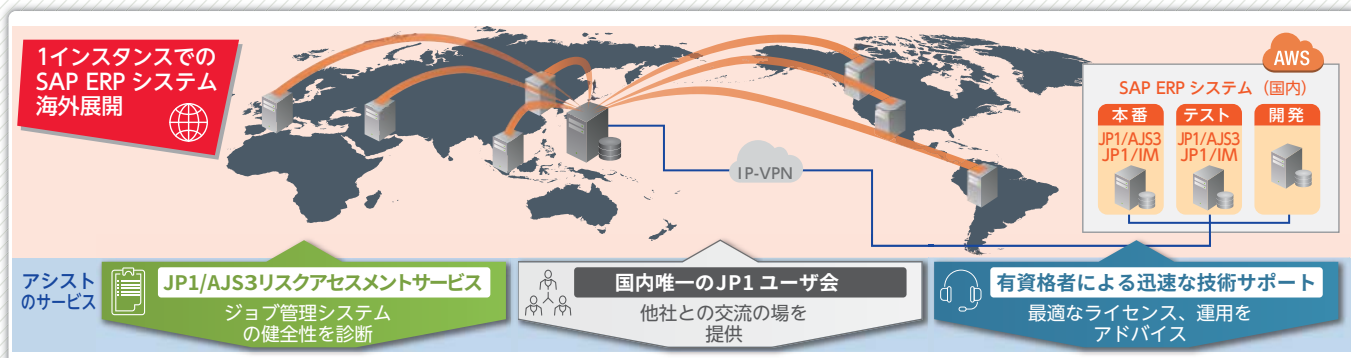
対策

- 「JP1/AJS3リスクアセスメントサービス」でJP1の稼働状況や潜在リスクを可視化
- ライセンス形態の見直しによるコストの試算
- アシストが運営する国内唯一のJP1ユーザ会への参加

効果

- リソース増強やジョブ実行数の見直しで、海外展開をトラブルゼロで開始
- 購入するライセンス形態の変更によるコストの大幅削減
- 他社ユーザとの交流機会や、最新技術情報の定期的な入手

海外展開計画とアシストの支援サービス



ジョブ管理業務品質向上ソリューション

「SAP ERP×クラウド」の安定稼働を支えるJP1

しかし、そこで生じた一抹の不安

1906年の創業以来、アズビル株式会社（以下、アズビル）は、azbilグループの中核として、建物市場でビルディングオートメーション事業を、工場やプラント市場でアドバンスオートメーション事業を、ライフラインや健康などの生活に密着した市場において、ライフオートメーション事業を展開。近年はより一層の成長に向けて、海外市場へ積極的に展開しています。

海外ビジネスを強化するべく、現在は基幹システムの統合を推し進めています。2015年にはSAP ERPをAmazon Web Services (AWS)のクラウド環境上へ導入し、本社で運用しつつ、海外拠点毎に運用する基幹システムを、SAP ERP環境の1インスタンスへと統合するプロジェクトを開始しました。

このERP統合を成功させるために重要な役割を担ったのが、統合システム運用管理製品「JP1」です。大規模な基幹システムのクラウド化を実現するには、高い処理性能と品質が欠かせないと判断した同社は、2015年にJP1を採用。導入当初から安定稼働していたJP1でしたが、業務システム部 運用管理グループ マネージャー 松原 健氏によれば、2018年の海外展開を見据えた時に若干の不安を感じたといいます。

松原氏 海外グループ企業の基幹システムを統合することにより、管理するサーバ数が増加します。それに比例してジョブ実行数や定義数が増えるため、「既存の運用でパフォーマンスが十分に担保できるか」「海外展開に向けた準備に不足があるのではないか」といった不安がありました。



松原 健氏

海外展開の不安を完全に払拭した「JP1/AJS3リスクアセスメントサービス」

その頃アシストから提案を受けたのが、人間ドックのようにJP1自身の稼働状況や潜在リスクを可視化する診断サービス「JP1/AJS3リスクアセスメントサービス」でした。同サービスの存在を知ったきっかけはアシストが運営するJP1ユーザ会です。JP1ユーザ会へ参加した経緯について、アズビル 業務システム部 チームリーダー 寺崎 正記氏は次のように述べます。

寺崎氏 JP1はSAP ERPと同じタイミングで導入したので、運用経験やノウハウが少なくて困っていました。そんな時、JP1ユーザ会の存在を知りました。JP1は他社から購入していたため参加資格がないかと思っていたのですが、快く招いていただけました。JP1ユーザ会には、開発元メーカーを交えた座談会があって、以前「ジョブのWebコンソール上にコメントを表示して欲しい」という追加機能の要望を伝えたところ、次期バージョンで反映されていました。弊社の要望が製品に反映されるような経験は初めてだったので、このような場を提供してくれるアシストに感謝しています。



寺崎 正記氏

松原氏 JP1ユーザ会は、外出機会が少ない現場担当者にとって良い刺激になります。他社のノウハウを吸収することで、自社の知見やスキルが蓄えられますし、ユーザとして事例紹介に登壇したことで弊社の取り組みもアピールできました。

さらに、アシストの取り組みやメーカーとの良好な関係を知った同社は、「JP1/AJS3リスクアセスメントサービス」も試用。現行の稼働状況に致命的な問題はないものの、海外展開に備えてリソース増強やジョブ実行数の見直しが必要であることが判明しました。

松原氏 海外展開を控えていた当時は、現行環境のパフォーマンスに問題があるのかなのか、誰も自信を持って答えられないような状況でしたが、「JP1/AJS3リスクアセスメントサービス」を利用したことで問題箇所が特定され、必要な対処法も分かりました。時差を踏まえたジョブスケジュールの組み方など、海外での利用時の具体的なアドバイスもいただけて、何より「専門家のお墨付きをもらえた」という安心感から、海外展開に対して抱いていた不安が払拭されました。

高いサポート品質と提案の妥当性がアシストへJP1保守サポートを任せられた理由

そんな折、既存のJP1保守サポート契約の期限切れが近付いてきました。寺崎氏は、当時の心境を次のように振り返ります。

寺崎氏 従来のサポートに大きな不満はありませんでしたが、アシストはあらゆる懸案事項に対して時に

は現場へ訪問しながら迅速に対応してくれました。こちらの意図を十分に汲んだ上でコミュニケーションを取ってくれたので、海外展開を本格化した後もアシストのサポートを継続して受けたいと思いました。

また契約更新のタイミングで、JP1のライセンス購入形態の見直しをアシストから提案されました。

松原氏 弊社では、本番用とテスト用（品証環境）でそれぞれJP1を導入しています。当初、テスト環境は夜間や休日に稼働させることはないと思ったので、従量課金型ライセンスを購入しました。ところが実際には、テスト環境は24時間稼働させる必要があり、想定以上に費用がかさんでいました。そこでアシストに協力を仰いどころ、購入形態を見直した場合の試算をしていただき、大変助かりました。

これら、一連のサポート品質の高さと提案の妥当性を鑑みて、アズビルはJP1の保守サポートをアシストへ任せることにしました。

頼りになるパートナー・ユーザ企業とともにさらなる攻めのIT運用を継続する

その後アズビルでは、海外グループ企業用のJP1環境構築やバージョンアップ作業を、アシスト技術者のサポートを受けながら進めています。JP1ユーザ会へも積極的に参加しており、最近では、他の参加企業からの情報提供のおかげで深刻なトラブルが解消できたといいます。

寺崎氏 弊社と同じように、クラウド環境上でSAP ERPを運用するユーザさんと知り合ったのですが、会話する中で、当時頭を悩ませていたトラブルの原因が特定できたのには驚きでした。ユーザ同士で高度なノウハウを共有し合えるコミュニティはJP1ユーザ会しかないのでとても重宝しています。

今後アズビルは、基幹システムの海外展開以外にもさまざまなシステム施策を計画しており、「これらを滞りなく遂行していく上でもアシストの支援に期待したい」と松原氏は述べます。

松原氏 今後もサーバOSのバージョンアップや、SAP ERPのSAP S/4HANAへの移行など、多くのイベントが待ち構えています。JP1を活用した攻めの運用にチャレンジしていくためにも、今後ともアシストの伴走は欠かせません。

※ JP1/AJS3はJP1/Automatic Job Management System 3の略称です。

お問い合わせは **株式会社アシスト**

URL <https://www.ashisuto.co.jp/jp1/> E-Mail sk_info@ashisuto.co.jp

東京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル	TEL: 03-5276-5565	大阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F	TEL: 06-6373-7113
札幌 〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル 13F	TEL: 011-281-1161	広島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F	TEL: 050-3816-0974
仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F	TEL: 050-3816-0970	福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九軌筑紫通ビル 9F	TEL: 092-481-7156
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F	TEL: 052-232-8211	沖縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F	TEL: 050-3816-0976
金沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢 8F	TEL: 050-3816-0972		

※本事例は取材時の内容に基づくものです。※製品内容は、予告なく変更される場合があります。※記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。 JP-215DEC18